

# 目 次

<b>I 調 査 要 領</b>	
1. 調査時点及び調査対象期間	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 回収状況	1
<b>II 要 約</b>	2
1. 今期の景況	2
2. 来期の見通し	2
<b>III 概 況</b>	3
1. 業況判断	6
2. 売上げの動向	7
3. 輸出の動向	8
4. 製品・商品在庫の動向	8
5. 価格の動向	8
6. 経常利益の動向	9
7. 金融の動向	9
8. 雇用の動向	10
9. 設備投資の動向	11
10. 経営上の問題点	12

令和2年2月  
青森県商工会連合会

## 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 2019年11月15日  
(2) 調査対象期間 2019年10～12月期実績及び2020年1～3月期見通し  
について調査した。

## 2. 調査対象

製造業、建設業については、資本金3億円以下又は従業員300人以下の企業、卸売業については、資本金1億円以下又は従業員100人以下の企業、小売業については、資本金5千万円以下又は従業員50人以下の企業、サービス業については、資本金5千万円以下又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(なお、各産業のうち「小規模」とあるのは、製造業及び建設業における従業員20人以下の、卸売業、小売業及びサービス業における従業員5人以下の企業規模を指し、その他は「中規模」と区分した。)

## 3. 調査方法

原則として、全国の商工会、商工会議所の経営指導員、及び中小企業団体中央会の情報連絡員が訪問面接し、聴き取りによって行った。

## 4. 回収状況

287企業のうち、257企業の回答を得た(有効回答率 89.5%)。

	調査対象企業数		有効回答企業数		有効回答率 (%)
製造業	52	( 18.1 )	50	( 19.5 )	96.2
建設業	37	( 12.9 )	35	( 13.6 )	94.6
卸売業	20	( 7.0 )	17	( 6.6 )	85.0
小売業	75	( 26.1 )	64	( 24.9 )	85.3
サービス業	103	( 35.9 )	91	( 35.4 )	88.3
合計	287	( 100.0 )	257	( 100.0 )	89.5

注：( )内は構成比 (%)

## Ⅱ 要 約

### 1. 今期の景況

2019年10～12月期の全産業の業況判断DI（前年同期比「好転」－「悪化」）は、前年同期（2018年10～12月期）の $\Delta 19.4$ に対して $\Delta 27.5$ と悪化した。同様に産業別で見ると、製造業は $\Delta 20.4$ から $\Delta 20.0$ と横ばいであったが、サービス業は $\Delta 15.8$ から $\Delta 22.3$ 、卸売業は $\Delta 16.6$ から $\Delta 25.0$ 、小売業が $\Delta 32.8$ から $\Delta 45.3$ 、建設業は $\Delta 2.9$ から $\Delta 20.6$ と悪化が大きく上回った。

全産業の業況水準判断DI（今期の水準「良い」－「悪い」）は、前年同期（2018年10～12月期）の $\Delta 14.7$ 、前期（2019年7～9月期） $\Delta 23.6$ と比べて今期は $\Delta 30.8$ となった。産業別では、前期と比べ全ての産業で悪化している。下落幅が最も大きかったのは建設業（ $\Delta 11.1 \rightarrow \Delta 21.8$ ）であり、順にサービス業（ $\Delta 14.5 \rightarrow \Delta 24.2$ ）、小売業（ $\Delta 46.2 \rightarrow \Delta 51.5$ ）、製造業（ $\Delta 19.7 \rightarrow \Delta 24.0$ ）、卸売業（ $\Delta 22.2 \rightarrow \Delta 25.0$ ）となった。

売上額DI（前年同期比「増加」－「減少」）も減少傾向にあり、全産業では前年同期 $\Delta 19.4$ 、前期 $\Delta 26.0$ から今期は $\Delta 39.6$ となった。産業別では、卸売業（ $\Delta 11.1 \rightarrow \Delta 35.4$ ）が最も減少し、順に製造業（ $\Delta 15.7 \rightarrow \Delta 34.0$ ）、小売業（ $\Delta 48.5 \rightarrow \Delta 65.6$ ）、サービス業（ $\Delta 14.4 \rightarrow \Delta 26.3$ ）、建設業（ $\Delta 33.3 \rightarrow \Delta 37.2$ ）であった。

経常利益DI（前年同期比「好転」－「悪化」）においては、全産業では前年同期 $\Delta 22.9$ 、前期 $\Delta 27.9$ に対して今期は $\Delta 30.3$ となった。産業別に前期と比して見ると、サービス業（ $\Delta 32.6 \rightarrow \Delta 23.6$ ）が増加したものの、製造業（ $\Delta 15.7 \rightarrow \Delta 26.5$ ）、建設業（ $\Delta 25.0 \rightarrow \Delta 35.3$ ）、小売業（ $\Delta 33.8 \rightarrow \Delta 41.4$ ）、卸売業（ $\Delta 23.5 \rightarrow \Delta 25.0$ ）と悪化している。

（注） DIとは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から、「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

なお、前期比（季調済）は、X12-ARIMA（X11デフォルト）により季節調整を行った値である。

### 2. 来期の見通し

今期は従業員数DI（前年同期比「増加」－「減少」）および従業員数過不足DI（今期の水準「過剰」－「不足」）を見ると幾分か人手不足感が解消されたものの、売上の減少、利益の減少が大きい。特に売上額は全産業で見ると過去10年間で最も低い水準となった。小売業の低調ぶりが大きく、売上額の減少、売上（加工）数量・客数の動向DI、仕入単価DI、売上単価DIなどを見ると、小売業がかなり苦戦していることが確認できる。

中国での「武漢肺炎」による混乱は、中国国内だけに止まらず、我が国にも相当影響を及ぼすものと考えられる。中国市場の需要減退、生産活動の停滞は、我が国にとっては、中国への輸出減少、インバウンド需要の減少、商品・部材の確保が困難になるなど、様々な影響が懸念される。緩やかな景気回復基調、東京オリンピック特需の前に、「武漢肺炎」によって先行き不透明な様相へと転換しつつある。中国経済の動向が世界経済、青森県経済にどの程度影響を及ぼすか。脱中国がより加速することが予想される中で、新たな手立てを打っていく必要がある。

# Ⅲ 概 況

全産業（2019年10～12月期）

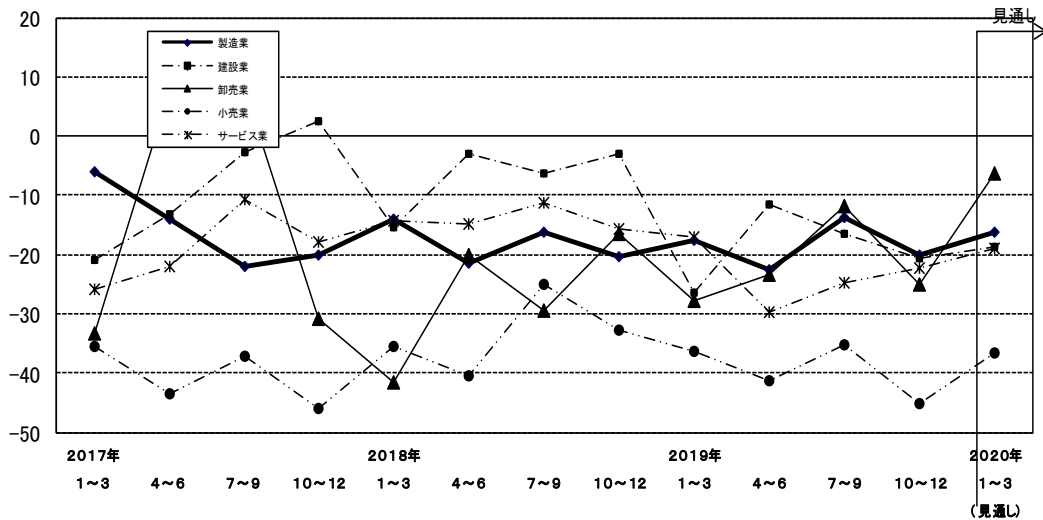
	業況判断			売上額		在庫水準判断	経常利益	資金繰り		従業員数過不足
	前年同期比	前期比(季調済)	今期の水準	前年同期比	前期比(季調済)	今期の水準	前年同期比	前年同期比	前期比(季調済)	今期の水準
2018年10～12月実績	△ 19.4	△ 14.7	△ 14.7	△ 19.4	△ 13.7	△ 0.8	△ 22.9	△ 7.8	△ 8.5	△ 22.2
2019年1～3月実績	△ 24.3	△ 16.6	△ 26.4	△ 28.6	△ 16.7	2.9	△ 26.7	△ 13.7	△ 11.4	△ 18.7
2019年4～6月実績	△ 28.3	△ 17.6	△ 27.9	△ 24.8	△ 15.3	5.5	△ 29.8	△ 18.3	△ 14.4	△ 17.0
2019年7～9月実績	△ 23.4	△ 21.5	△ 23.6	△ 26.0	△ 18.8	6.0	△ 27.9	△ 12.7	△ 14.1	△ 22.5
2019年10～12月実績	△ 27.5	△ 21.7	△ 30.8	△ 39.6	△ 22.9	10.1	△ 30.3	△ 17.0	△ 14.1	△ 19.9
2020年1～3月見通し	△ 22.1	△ 19.5	—	△ 33.4	—	—	△ 30.1	△ 19.5	—	—

産業別（2019年10～12月期）

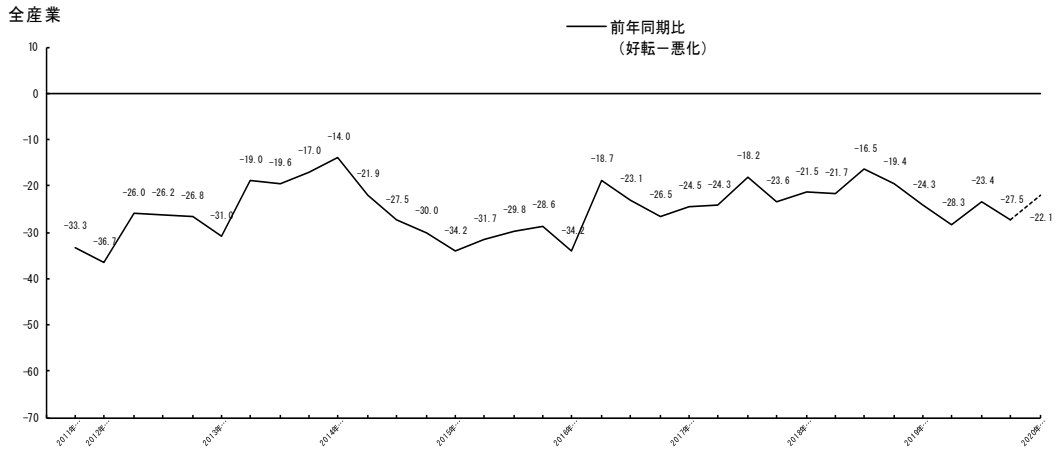
	業況判断			売上額		在庫水準判断	経常利益	資金繰り		従業員数過不足
	前年同期比	前期比(季調済)	今期の水準	前年同期比	前期比(季調済)	今期の水準	前年同期比	前年同期比	前期比(季調済)	今期の水準
製造業	△ 20.0	△ 19.3	△ 24.0	△ 34.0	△ 25.5	△ 2.1	△ 26.5	△ 16.0	△ 12.4	△ 23.9
建設業	△ 20.6	△ 24.9	△ 21.8	△ 37.2	△ 29.9	—	△ 35.3	△ 20.0	△ 20.2	△ 40.6
卸売業	△ 25.0	△ 7.4	△ 25.0	△ 35.4	△ 8.4	35.3	△ 25.0	△ 23.5	△ 13.2	△ 17.6
小売業	△ 45.3	△ 33.5	△ 51.5	△ 65.6	△ 31.1	12.5	△ 41.4	△ 25.0	△ 22.5	△ 3.6
サービス業	△ 22.3	△ 13.4	△ 24.2	△ 26.3	△ 15.3	—	△ 23.6	△ 10.0	△ 6.8	△ 21.1

注：製造業の輸出額DI（前年同期比）は △ 9.1 生産設備過不足DI（今期の水準）は △ 16.4

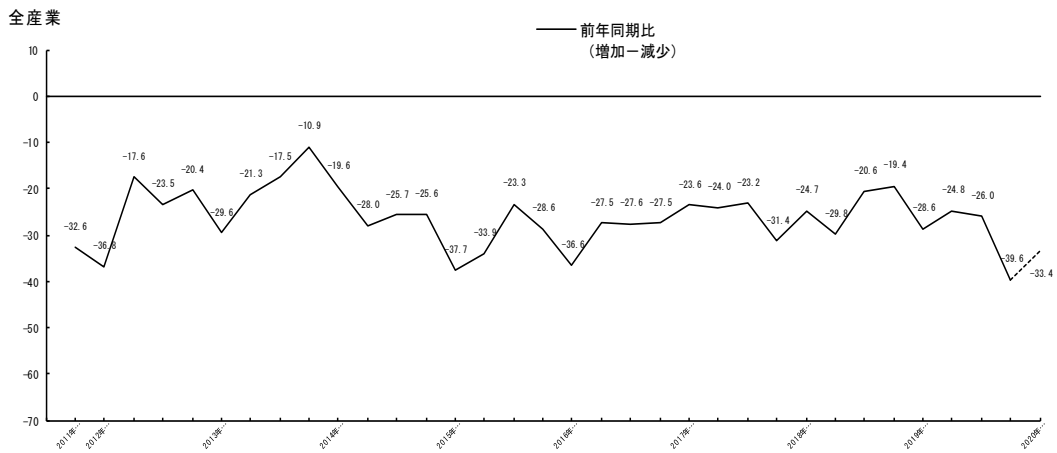
産業別 過去3年間の業況DI(前年同期比)の推移  
(2017年1～3月期～2019年10～12月期)



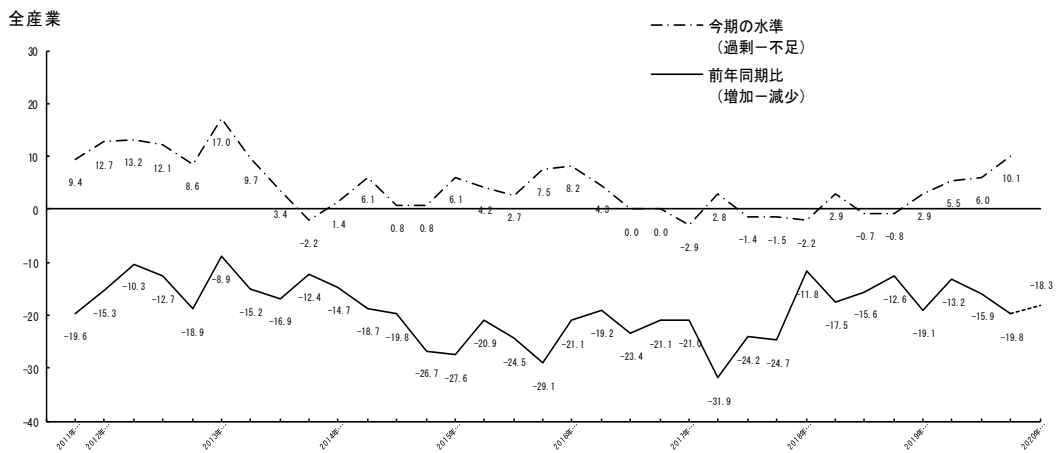
### 業況判断の動向 (DI)



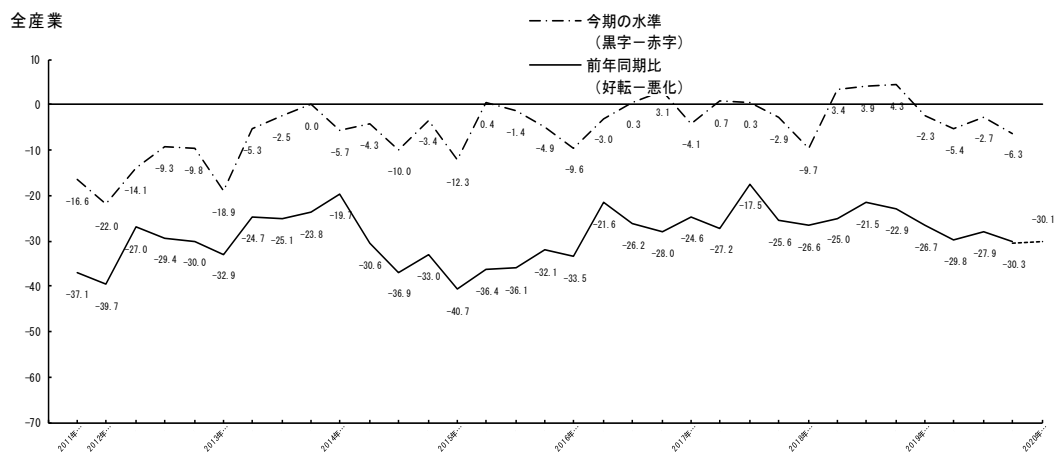
### 売上額の動向 (DI)



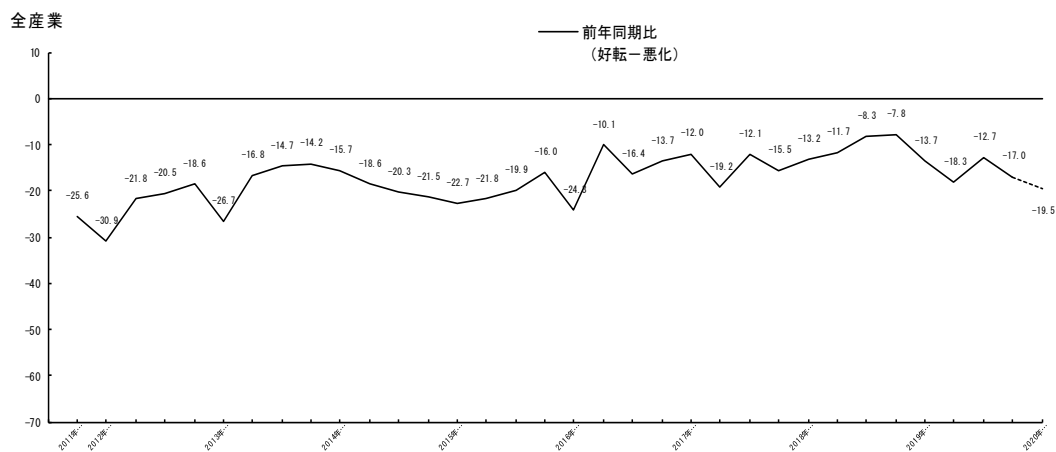
### 製品・商品在庫の動向 (DI)



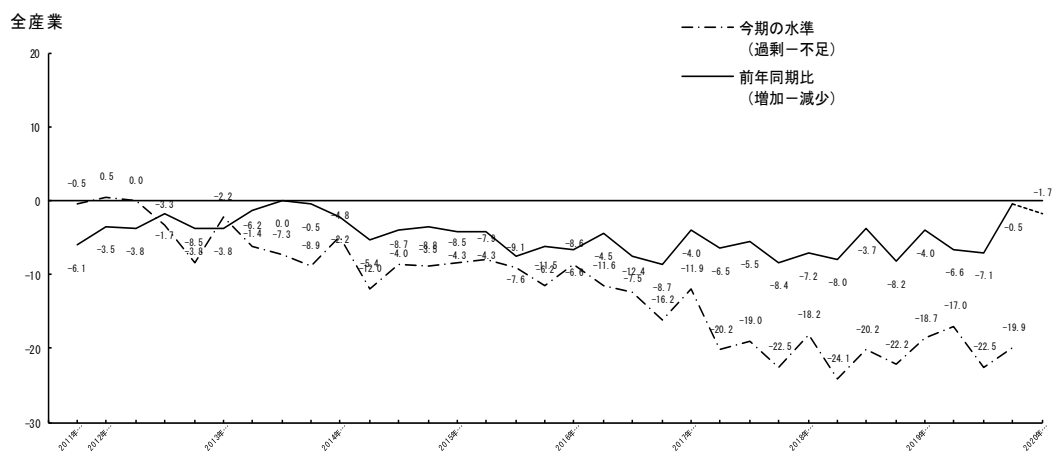
### 経常利益の動向 (D I)



### 資金繰りの動向 (D I)



### 従業員数 (臨時・パート等を含む)の動向 (D I)



## 業況判断D I (「好転」 - 「悪化」)

		実 績					来期見通し	
		2018年 10~12月期	2019年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	2020年 1~3月期	
全 産 業	前年同期比	△ 19.4 ( △ 17.9 )	△ 24.3 ( △ 21.7 )	△ 28.3 ( △ 21.0 )	△ 23.4 ( △ 21.4 )	△ 27.5 ( △ 25.5 )	△ 22.1	
	[前期比・季調済]	[ △ 14.7 ] ( △ 10.7 )	[ △ 16.6 ] ( △ 14.8 )	[ △ 17.6 ] ( △ 23.7 )	[ △ 21.5 ] ( △ 24.3 )	[ △ 21.7 ] ( △ 18.9 )	[ △ 19.5 ]	
製 造 業	前年同期比	△ 20.4 ( △ 14.8 )	△ 17.7 ( △ 21.8 )	△ 22.5 ( △ 14.9 )	△ 13.8 ( △ 15.3 )	△ 20.0 ( △ 13.8 )	△ 16.3	
	[前期比・季調済]	[ △ 22.2 ] ( △ 3.9 )	[ △ 10.9 ] ( △ 10.0 )	[ △ 14.6 ] ( △ 18.4 )	[ △ 15.2 ] ( △ 7.3 )	[ △ 19.3 ] ( △ 15.2 )	[ △ 9.2 ]	
建 設 業	前年同期比	△ 2.9 ( △ 12.5 )	△ 26.5 ( △ 25.7 )	△ 11.5 ( △ 24.2 )	△ 16.6 ( △ 15.1 )	△ 20.6 ( △ 14.3 )	△ 18.7	
	[前期比・季調済]	[ △ 14.0 ] ( △ 3.6 )	[ △ 13.0 ] ( △ 2.7 )	[ △ 17.5 ] ( △ 17.8 )	[ △ 16.5 ] ( △ 25.8 )	[ △ 24.9 ] ( △ 7.3 )	[ △ 9.5 ]	
卸 売 業	前年同期比	△ 16.6 ( △ 23.5 )	△ 27.8 ( △ 18.8 )	△ 23.5 ( △ 16.7 )	△ 11.8 ( 0.0 )	△ 25.0 ( △ 23.5 )	△ 6.3	
	[前期比・季調済]	[ △ 15.7 ] ( △ 23.7 )	[ △ 14.7 ] ( △ 12.7 )	[ △ 19.2 ] ( △ 11.0 )	[ △ 9.0 ] ( △ 8.7 )	[ △ 7.4 ] ( △ 6.6 )	[ 10.2 ]	
小 売 業	前年同期比	△ 32.8 ( △ 27.9 )	△ 36.3 ( △ 25.4 )	△ 41.4 ( △ 26.5 )	△ 35.3 ( △ 33.4 )	△ 45.3 ( △ 42.6 )	△ 36.5	
	[前期比・季調済]	[ △ 13.0 ] ( △ 15.7 )	[ △ 32.5 ] ( △ 24.8 )	[ △ 18.0 ] ( △ 28.7 )	[ △ 33.6 ] ( △ 27.6 )	[ △ 33.5 ] ( △ 31.8 )	[ △ 41.3 ]	
サ ー ビ ス 業	前年同期比	△ 15.8 ( △ 12.7 )	△ 17.1 ( △ 17.7 )	△ 29.7 ( △ 19.8 )	△ 24.7 ( △ 22.6 )	△ 22.3 ( △ 23.9 )	△ 19.1	
	[前期比・季調済]	[ △ 9.7 ] ( △ 13.8 )	[ △ 8.4 ] ( △ 10.7 )	[ △ 22.1 ] ( △ 28.1 )	[ △ 19.3 ] ( △ 34.2 )	[ △ 13.4 ] ( △ 18.3 )	[ △ 16.8 ]	

注：( )内は1期前における当期見通し

## 業況水準判断D I (「良い」 - 「悪い」)

		今 期 の 水 準				
		2018年 10~12月期	2019年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
全 産 業		△ 14.7	△ 26.4	△ 27.9	△ 23.6	△ 30.8
製 造 業		△ 10.7	△ 19.6	△ 18.7	△ 19.7	△ 24.0
建 設 業		8.6	△ 14.7	△ 25.7	△ 11.1	△ 21.8
卸 売 業		△ 11.1	△ 27.8	△ 23.6	△ 22.2	△ 25.0
小 売 業		△ 37.3	△ 42.7	△ 39.7	△ 46.2	△ 51.5
サ ー ビ ス 業		△ 10.0	△ 22.1	△ 26.3	△ 14.5	△ 24.2

売上額D I (「増加」-「減少」)

		実 績					来期見通し
		2018年 10~12月期	2019年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	2020年 1~3月期
全 産 業	前年同期比	△ 19.4 ( △ 18.3 )	△ 28.6 ( △ 21.6 )	△ 24.8 ( △ 20.6 )	△ 26.0 ( △ 20.5 )	△ 39.6 ( △ 26.3 )	△ 33.4
	[前期比・季調済]	[ △ 13.7 ]	[ △ 16.7 ]	[ △ 15.3 ]	[ △ 18.8 ]	[ △ 22.9 ]	[ ——— ]
製 造 業	前年同期比	△ 10.2 ( △ 18.8 )	△ 13.7 ( △ 6.2 )	△ 10.4 ( △ 3.9 )	△ 15.7 ( △ 10.5 )	△ 34.0 ( △ 21.5 )	△ 28.0
	[前期比・季調済]	[ △ 8.1 ]	[ △ 10.3 ]	[ △ 8.2 ]	[ △ 18.6 ]	[ △ 25.5 ]	[ ——— ]
建 設 業	前年同期比	0.0 ( △ 6.1 )	△ 49.9 ( △ 20.0 )	△ 22.9 ( △ 29.4 )	△ 33.3 ( △ 17.1 )	△ 37.2 ( △ 27.8 )	△ 34.3
	[前期比・季調済]	[ △ 14.1 ]	[ △ 28.6 ]	[ △ 34.5 ]	[ △ 20.6 ]	[ △ 29.9 ]	[ ——— ]
卸 売 業	前年同期比	△ 27.8 ( △ 17.7 )	△ 22.2 ( △ 38.8 )	△ 35.4 ( △ 5.6 )	△ 11.1 ( △ 5.9 )	△ 35.4 ( △ 5.5 )	△ 5.9
	[前期比・季調済]	[ △ 25.6 ]	[ △ 1.1 ]	[ △ 7.9 ]	[ 6.3 ]	[ △ 8.4 ]	[ ——— ]
小 売 業	前年同期比	△ 31.4 ( △ 29.4 )	△ 31.0 ( △ 29.8 )	△ 30.2 ( △ 27.5 )	△ 48.5 ( △ 31.8 )	△ 65.6 ( △ 33.8 )	△ 49.9
	[前期比・季調済]	[ △ 6.4 ]	[ △ 19.8 ]	[ △ 7.0 ]	[ △ 34.9 ]	[ △ 31.1 ]	[ ——— ]
サ ー ビ ス 業	前年同期比	△ 21.3 ( △ 14.4 )	△ 28.4 ( △ 21.1 )	△ 27.4 ( △ 24.4 )	△ 14.4 ( △ 24.2 )	△ 26.3 ( △ 26.7 )	△ 29.7
	[前期比・季調済]	[ △ 17.5 ]	[ △ 14.5 ]	[ △ 21.7 ]	[ △ 10.2 ]	[ △ 15.3 ]	[ ——— ]

注：( )内は1期前における当期見通し

売上(加工)数量・客数の動向D I (「増加」-「減少」)

		実 績					来期見通し
		2018年 10~12月期	2019年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	2020年 1~3月期
製 造 業 売上(加工)数量	前年同期比	△ 2.1 ( △ 18.4 )	△ 17.7 ( △ 4.1 )	△ 10.2 ( △ 2.0 )	△ 19.6 ( △ 12.3 )	△ 34.7 ( △ 19.6 )	△ 28.5
	[前期比・季調済]	[ △ 8.2 ]	[ △ 2.4 ]	[ △ 9.3 ]	[ △ 28.3 ]	[ △ 26.7 ]	[ ——— ]
小 売 業 客 数	前年同期比	△ 40.4 ( △ 33.8 )	△ 47.9 ( △ 34.3 )	△ 52.4 ( △ 41.2 )	△ 50.0 ( △ 41.2 )	△ 59.4 ( △ 45.7 )	△ 57.8
	[前期比・季調済]	[ △ 12.8 ]	[ △ 33.4 ]	[ △ 12.2 ]	[ △ 38.9 ]	[ △ 34.1 ]	[ ——— ]
サ ー ビ ス 業 利 用 客 数	前年同期比	△ 13.6 ( △ 18.0 )	△ 34.5 ( △ 16.8 )	△ 28.5 ( △ 31.4 )	△ 17.8 ( △ 24.5 )	△ 27.5 ( △ 27.8 )	△ 28.6
	[前期比・季調済]	[ △ 15.1 ]	[ △ 26.6 ]	[ △ 25.5 ]	[ △ 11.6 ]	[ △ 23.6 ]	[ ——— ]

注：( )内は1期前における当期見通し



輸出額D I (「増加」-「減少」)

	前年同期比					
	実績					来期見通し
	2018年 10~12月期	2019年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	2020年 1~3月期
製造業	15.4 ( 18.2 )	14.3 ( 7.7 )	7.7 ( 7.1 )	0.0 ( 0.0 )	△ 9.1 ( 0.0 )	18.2

注：( )内は1期前における当期見通し

在庫水準判断D I (「過剰」-「不足」)

	今期の水準				
	2018年 10~12月期	2019年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
全産業	△ 0.8	2.9	5.5	6.0	10.1
製造業	△ 10.8	△ 6.2	△ 6.2	△ 8.2	△ 2.1
卸売業	22.2	16.6	41.2	38.9	35.3
小売業	0.0	5.8	4.8	7.4	12.5

価格の動向

	仕入単価D I (「上昇」-「低下」)				
	前年同期比				
	2018年 10~12月期	2019年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
全産業	32.0	27.1	43.2	38.1	45.6
製造業	40.9	52.3	45.4	37.0	42.3
建設業	42.8	20.6	48.5	44.4	37.1
卸売業	27.8	38.9	52.9	49.9	47.1
小売業	22.4	10.1	39.7	31.0	35.9
サービス業	31.3	27.3	40.7	39.3	57.4

		売上単価D I (「上昇」-「低下」)				
		2018年 10~12月期	2019年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
全産業	前年同期比	△ 11.3	△ 15.7	△ 12.9	△ 16.3	△ 14.5
	[前期比・季調済]	[ △ 11.2 ]	[ △ 7.6 ]	[ △ 12.0 ]	[ △ 14.9 ]	[ △ 7.1 ]
製造業	前年同期比	△ 2.1	△ 11.8	△ 2.0	△ 9.8	△ 12.2
	[前期比・季調済]	[ △ 6.3 ]	[ △ 3.8 ]	[ △ 12.1 ]	[ △ 9.5 ]	[ △ 3.4 ]
卸売業	前年同期比	△ 5.5	22.2	17.6	11.1	11.7
	[前期比・季調済]	[ △ 10.6 ]	[ 18.4 ]	[ 19.3 ]	[ 8.7 ]	[ 7.1 ]
小売業	前年同期比	△ 13.5	△ 23.2	△ 25.4	△ 38.2	△ 34.4
	[前期比・季調済]	[ △ 5.9 ]	[ △ 15.5 ]	[ △ 10.6 ]	△ 24.3 ]	[ △ 19.8 ]
サービス業	前年同期比	△ 15.9	△ 19.8	△ 15.8	△ 8.9	△ 6.6
	[前期比・季調済]	[ △ 18.2 ]	[ △ 13.1 ]	[ △ 17.9 ]	[ △ 14.4 ]	[ △ 3.0 ]

経常利益D I (「好転」-「悪化」)

	前 年 同 期 比					
	実 績					来期見通し
	2018年 10~12月期	2019年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	2020年 1~3月期
全 産 業	△ 22.9 ( △ 23.9 )	△ 26.7 ( △ 24.2 )	△ 29.8 ( △ 19.5 )	△ 27.9 ( △ 27.5 )	△ 30.3 ( △ 27.4 )	△ 30.1
製 造 業	△ 18.3 ( △ 20.8 )	△ 31.3 ( △ 20.4 )	△ 16.3 ( △ 15.7 )	△ 15.7 ( △ 20.4 )	△ 26.5 ( △ 13.8 )	△ 18.7
建 設 業	△ 11.4 ( △ 15.1 )	△ 20.6 ( △ 25.7 )	△ 22.9 ( △ 6.1 )	△ 25.0 ( △ 20.0 )	△ 35.3 ( △ 27.8 )	△ 29.4
卸 売 業	△ 22.2 ( △ 35.3 )	△ 22.2 ( △ 17.6 )	△ 11.7 ( △ 11.1 )	△ 23.5 ( △ 23.5 )	△ 25.0 ( △ 33.3 )	△ 35.3
小 売 業	△ 34.3 ( △ 32.4 )	△ 31.9 ( △ 26.8 )	△ 38.1 ( △ 23.2 )	△ 33.8 ( △ 34.9 )	△ 41.4 ( △ 35.2 )	△ 42.8
サービス業	△ 21.3 ( △ 20.2 )	△ 23.2 ( △ 25.0 )	△ 37.3 ( △ 25.6 )	△ 32.6 ( △ 30.0 )	△ 23.6 ( △ 28.1 )	△ 26.6

注：( )内は1期前における当期見通し

金融の動向

		2018年 10~12月期	2019年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
資金繰りD I 「好転」-「悪化」	全産業	△ 7.8 [ △ 8.5 ]	△ 13.7 [ △ 11.4 ]	△ 18.3 [ △ 14.4 ]	△ 12.7 [ △ 14.1 ]	△ 17.0 [ △ 14.1 ]
	製造業	△ 14.3 [ △ 13.8 ]	△ 13.7 [ △ 16.5 ]	△ 20.4 [ △ 14.7 ]	△ 9.8 [ △ 10.3 ]	△ 16.0 [ △ 12.4 ]
長期資金借入難易度 「容易」-「困難」	全産業	[ △ 1.6 ]	[ △ 4.2 ]	[ △ 6.6 ]	[ 0.2 ]	[ △ 0.1 ]
	製造業	[ △ 2.6 ]	[ 0.1 ]	[ 4.0 ]	[ △ 3.3 ]	[ △ 0.4 ]
短期資金借入難易度 「容易」-「困難」	全産業	[ △ 0.4 ]	[ △ 4.2 ]	[ △ 2.3 ]	[ △ 0.1 ]	[ △ 1.7 ]
	製造業	[ △ 1.1 ]	[ △ 1.6 ]	[ 5.0 ]	[ △ 2.0 ]	[ △ 9.0 ]
借入金利D I 「上昇」-「低下」	全産業	[ △ 0.8 ]	[ 1.2 ]	[ 0.1 ]	[ △ 2.4 ]	[ △ 1.4 ]
	製造業	[ △ 4.2 ]	[ 1.5 ]	[ △ 2.0 ]	[ △ 5.4 ]	[ △ 4.1 ]

注：[ ]内は前期比(季調済)、それ以外は前年同期比

従業員数D I (「増加」-「減少」)

	前年同期比					
	実績					来期見通し
	2018年 10~12月期	2019年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	2020年 1~3月期
全産業	△ 8.2 ( △ 4.5 )	△ 4.0 ( △ 6.1 )	△ 6.6 ( △ 5.3 )	△ 7.1 ( △ 4.5 )	△ 0.5 ( △ 5.9 )	△ 1.7
製造業	△ 10.6 ( △ 2.1 )	2.1 ( 0.0 )	△ 15.6 ( 2.1 )	△ 12.5 ( △ 8.9 )	6.4 ( △ 4.2 )	△ 2.2
建設業	0.0 ( 0.0 )	△ 9.1 ( △ 3.0 )	△ 14.3 ( △ 18.8 )	△ 17.1 ( △ 14.3 )	△ 3.0 ( △ 17.1 )	△ 5.9
卸売業	△ 11.1 ( △ 29.4 )	11.1 ( △ 5.8 )	11.7 ( 0.0 )	0.0 ( 11.7 )	17.6 ( 0.0 )	17.6
小売業	△ 5.8 ( △ 9.1 )	△ 3.4 ( △ 7.8 )	0.0 ( △ 6.8 )	△ 5.0 ( 3.7 )	△ 7.0 ( △ 8.2 )	△ 3.5
サービス業	△ 11.7 ( 1.5 )	△ 9.9 ( △ 10.4 )	△ 6.5 ( △ 4.3 )	△ 2.6 ( △ 6.7 )	△ 2.8 ( △ 1.4 )	△ 2.8

注：( )内は1期前における当期見通し

従業員数過不足D I (「過剰」-「不足」)

	今期の水準				
	2018年 10~12月期	2019年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
全産業	△ 22.2	△ 18.7	△ 17.0	△ 22.5	△ 19.9
製造業	△ 24.4	△ 22.4	△ 23.4	△ 36.7	△ 23.9
建設業	△ 29.5	△ 21.2	△ 28.6	△ 38.9	△ 40.6
卸売業	△ 33.3	△ 11.1	△ 11.8	△ 27.8	△ 17.6
小売業	△ 11.6	△ 12.1	△ 10.9	△ 3.2	△ 3.6
サービス業	△ 22.5	△ 22.2	△ 13.6	△ 20.3	△ 21.1

設備投資実施企業割合（実施企業／回答企業×100）単位：％

	実 績					来期計画
	2018年 10～12月期	2019年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	2020年 1～3月期
全 産 業	17.7	11.5	13.7	18.8	20.4	15.8
製 造 業	29.8	18.0	18.4	24.0	31.1	20.0
建 設 業	20.0	8.8	21.9	13.9	28.6	8.6
卸 売 業	23.5	6.2	18.8	18.8	12.5	6.2
小 売 業	16.1	10.6	8.6	20.3	11.7	11.5
サービス業	10.2	10.3	11.5	16.7	19.1	21.4

生産設備過不足感D I（「過剰」－「不足」）

	今 期 の 水 準				
	2018年 10～12月期	2019年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
製 造 業	△ 8.5	△ 2.0	△ 12.0	△ 13.7	△ 16.4

経営上の問題点

	今期直面している経営上の問題点				
	1位 (%)	2位 (%)	3位 (%)	4位 (%)	5位 (%)
製造業	従業員の確保難 20.4 ( 18.0 ) 〔 20.8 〕	熟練技術者の確保難 16.3 ( 18.0 ) 〔 18.8 〕	原材料の不足 14.3 ( 10.0 ) 〔 2.1 〕	需要の停滞 14.3 ( 10.0 ) 〔 12.5 〕	生産設備の不足・老朽化 8.2 ( 6.0 ) 〔 10.4 〕
建設業	材料価格の上昇 20.0 ( 6.2 ) 〔 16.1 〕	従業員の確保難 20.0 ( 15.6 ) 〔 19.4 〕	下請業者の確保難 16.7 ( 0.0 ) 〔 0.0 〕	官公需要の停滞 13.3 ( 12.5 ) 〔 16.1 〕	人件費の増加 6.7 ( 6.2 ) 〔 3.2 〕
卸売業	需要の停滞 20.0 ( 6.7 ) 〔 14.3 〕	大企業の進出による競争の激化 13.3 ( 13.3 ) 〔 7.1 〕	従業員の確保難 13.3 ( 20.0 ) 〔 21.4 〕	小売業の進出による競争の激化 6.7 ( 0.0 ) 〔 7.1 〕	新規参入業者の増加 6.7 ( 6.7 ) 〔 0.0 〕
小売業	購買力の他地域への流出 23.2 ( 11.5 ) 〔 14.5 〕	大・中型店の進出による競争の激化 17.9 ( 19.7 ) 〔 14.5 〕	需要の停滞 14.3 ( 21.3 ) 〔 14.5 〕	消費者ニーズの変化への対応 8.9 ( 11.5 ) 〔 12.7 〕	同業者の進出 7.1 ( 6.6 ) 〔 10.9 〕
サービス業	需要の停滞 20.7 ( 15.9 ) 〔 17.1 〕	利用者ニーズの変化への対応 14.6 ( 15.9 ) 〔 11.0 〕	材料等仕入単価の上昇 13.4 ( 9.8 ) 〔 13.4 〕	店舗施設の狭隘・老朽化 11.0 ( 13.4 ) 〔 13.4 〕	従業員の確保難 8.5 ( 8.5 ) 〔 8.5 〕

注： ( )内は前期構成比  
〔 〕内は前々期構成比 いずれも問題点の1位にあげた企業の割合